

大 場 潟 乃 大 鼓

(プロフィール)

大場潟乃太鼓のルーツは文献的には幕末頃までさかのぼることができます。

活動の拠点は。金沢市の北郊、河北潟周辺の田園地帯の一角に位置する大場町です。

かつて農業や漁業にさまざまなめぐみをもたらした河北潟は、干拓事業によって昔の面影はすっかり失われてしまいましたが、この河北潟をとりまく周辺の農村地帯には、古くから虫送り大鼓が伝えられてきており、今も各地に残っています。

以前は、松明(たいまつ)で先導された大きな桶胴大鼓を、村の力持ちがかつぎ、大バイ、小バイと称する大小のバテで叩きながら五鼓豊穰を祈って田のあぜ道を練り歩いたものでした。私達の大鼓はこの虫送り太鼓が源流で、戦後まもなく町内の愛好家によって保存会が結成されました。

戦後生まれが中心になった頃から、新しい大鼓音楽の伝統を確立しようとの気運が高まり、虫送り大鼓の伝統を受け継ぎつつ、創作に意欲を燃やし、地域にふさわしいオリジナル曲作りに取り組んできました。

現在、本体の他に、女性中心のチームと高校生以下のジュニアチームの計3チームが各々活動し、会員数は30人程です。活動範囲は地元地域を中心に、県内はもちろんのこと、日本各地、更にはイスラエル・フィリピン・オーストリア・オーストラリア・台湾などに出掛け、大鼓演奏を行なっています。

老若男大、混然と入り乱れての楽しく、激しく、満身の力と気持ちを込めての演奏を心掛けています。

平成 20 年 8 月 1 日